



萩環衛第 68 号
令和3年6月16日

山口県知事
村岡 嗣政 様

萩市長 田 中 文 夫



(仮称)阿武風力発電事業に係る環境影響評価方法書について(回答)

令和3年1月29日付け令2環境政策第561号で萩市へ照会のあった標記の件について、次のとおり回答します。

記

当該事業に係る計画段階環境配慮書手続き以降、住民意見などを踏まえミヤマウメモドキ群落や奈古鳥獣保護区等が対象事業実施区域から除外された。

しかしながら、対象事業実施区域周辺の住民からは風力発電機の騒音や超低周波音、土砂災害発生時の濁流の処理等について、これまでの住民説明での質疑や環境影響評価方法書での意見に対し、十分な説明、回答を得ることができておらず、住民意見が反映されないまま事業計画が進むことに不安を感じるとの意見がある。

このような状況を十分に踏まえた上で、引き続き住民意見に誠意をもって対応し、理解が得られるよう丁寧かつ十分な説明を行うこと。

今後、環境影響に関する現地調査が実施されることになるが、特に以下の点について十分な対応を求めるものである。

1 総括的事項

環境影響評価を行う過程において、現地調査の項目や手法の選定等に係る事項に新たな事情が生じた場合は、必要に応じて見直しを行う等適切に対応すること。

また、風力発電機の規模や配置等の検討に当たっては、地域住民等へ検討の経緯及び結果について丁寧な説明を行い、述べられた意見を十分に勘案すること。

2 個別的事項

(1) 騒音及び超低周波音

発電設備の配置によっては、萩市の一部集落へ影響を及ぼす恐れがあるため、住居集落から隔離するなどの措置を講じ、生活環境への影響を回避又は十分に低減すること。

また、発電設備の稼働に伴う騒音及び超低周波音について、最新の知見を踏まえ適切に調査、予測及び評価を行い必要に応じて調査地点の追加や見直しを検討すること。

(2) 水質

対象事業実施区域は、日本海に流れ込む郷川、白須川、および大井川の支流などの上流部に位置している。河川への土砂の流入や水量の変化などがあれば、萩市から阿武町の岩礁や海浜、藻場、漁場などに影響が懸念される。工事の実施に伴う水の濁りによる影響を適切に調査、予測及び評価し、その結果を踏まえ、十分な貯留容量の沈砂池を設置する等の環境保全措置を検討すること。

(3) 生態系

対象事業実施区域及びその周辺は、各種希少生物の分布情報があり、生息環境の縮小等が生じる可能性がある。

また、施設の稼働により鳥類及びコウモリ類等の風力発電設備への衝突等が懸念される。現地調査では適切な状況把握に努めるとともに、国内外の事例等を集積し可能な限り予測及び評価に反映すること。

(4) 景観

萩市は全域を景観計画区域に設定しており、良好な景観形成に努めている。

今回、計画のある阿武町は、周囲を萩市に囲まれており、眺望景観への影響が懸念される。そのため、主要な眺望点及び景観資源の位置のみならず、一般的にも視認される可能性がある範囲においてもモニタージュ法によって、眺望点を示したうえで、景観への影響を専門家から意見聴取し予測及び評価に反映すること。

(5) その他

対象事業実施区域には、政府の地震調査研究推進本部による中国地域の活断層の長期評価において、評価の対象とする活断層の一つである奈古断層が存在することもあり、地震などに対する防災対策について専門家から意見聴取し、十分な調査、検証に努めること。